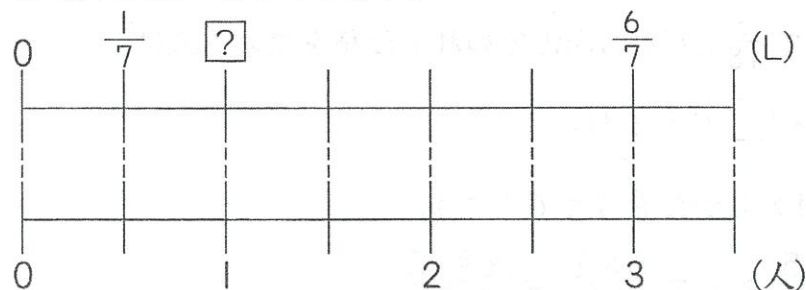




1. $\frac{6}{7}$ Lのオレンジジュースを3人でわけることになりました。
1人分は何Lになるでしょう。



上の図を見ると、 $\frac{6}{7} \div 3$ で1人分が求められることがわかります。

$\frac{6}{7}$ は、 $\frac{1}{7}$ の6こ分だから、 $\frac{6}{7} \div 3$ は $\frac{1}{7}$ の $(6 \div 3)$ こ分になる。

式 $\frac{6 \div 3}{7} = \frac{2}{7}$

答え $\frac{2}{7}$ L

かけ算のときは、分子に整数をかけたから、わり算は分子を整数でわればいね。

2. 次の計算をしましょう。

① $\frac{4}{5} \div 2 = \frac{4 \div 2}{5} = \frac{2}{5}$

② $\frac{9}{11} \div 3 = \frac{9 \div 3}{11} = \frac{3}{11}$

③ $\frac{12}{7} \div 6 = \frac{12 \div 6}{7} = \frac{2}{7}$

④ $\frac{20}{9} \div 5 = \frac{20 \div 5}{9} = \frac{4}{9}$

3. $\frac{6}{7}$ Lのアップルジュースを5人でわけることになりました。
1人分は何Lになるでしょう。

式は $\frac{6}{7} \div 5$ です。

しかし、 $6 \div 5$ はわりきれません。どうすればよいでしょう。

【解き方】 $\div 5$ をして、わりきれ数にするには、どうしたらよいでしょうか。
分子と分母に同じ数をかけても分数の大きさは変わらないという、分数の性質を使い、分子と分母にわる数である5をかけます。こうすると5の倍数になるから、必ず5でわることが出来ます。

$(\frac{6 \times 5}{7 \times 5} = \frac{30}{35} \text{ だね。 } \frac{6}{7} \text{ と } \frac{30}{35} \text{ は同じ大きさだ。})$

$\frac{6}{7} \div 5 = \frac{6 \times 5 \div 5}{7 \times 5}$ となります。ここで、分子の $5 \div 5$ を先に計算すると、

$= \frac{6 \times 1}{7 \times 5} = \frac{6}{35}$ です。つまり、5でわることは分母に5をかけるのと同じになります。

答え $\frac{6}{35}$ L

分数を整数でわる計算は、分子はそのままにして、分母にその整数をかけます。

$\frac{\bullet}{\blacksquare} \div \blacktriangle = \frac{\bullet}{\blacksquare \times \blacktriangle}$

4. 次の計算をしましょう。

① $\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4}{5 \times 3} = \frac{4}{15}$

② $\frac{3}{13} \div 8 = \frac{3}{13 \times 8} = \frac{3}{104}$

分数÷整数の計算方法です。わり算もかけ算同様、通分する必要はありません。分子を整数でわればよいのですが、わりきれない場合は、分母に整数をかけて計算します。計算手順を覚えるのと合わせて、なぜ分母にわる数をかければよいのかを理解しておきましょう。このあと学習する分数÷分数でも、同様の方法でわる分数を逆数にしてかけるという計算をします。